

## 平成29年度 秋田県校友会定時総会

平成29年度秋田県校友会定時総会は、平成29年6月10日（土）に秋田キャッスルホテルにて行われました。

16時に開始され、校歌斉唱の後、逝去された佐藤達見会員（37回）へ黙祷を捧げました。そして、小松義典県校友会会長（64回）の挨拶があり、石田益雄議長（54回）により議事が進められました。まず平成28年度の庶務報告が行われ、佐藤茂直会員（48回）、阿部権重会員（51回）、又井庸生会員（74回）が受彰、佐藤進会員（51回）が受章されたことが報告されました。その後、会計ならびに監査報告、評議員総会報告と予定通りに進行されました。

続いて、執行部より三点の検討事案が説明されました。①今後、当会では会員の高齢化が一気に進むため減収となっていく。財政が近いうちに厳しくなると予想され、対策が必要である。②昨年、本部の会員種別についての会則が変更になっている。当会においてもそれに対応した会則の変更が必要であ

る。③東北地区会員大会や本部の周年記念行事等への参加者は旅費、宿泊費が全額自己負担となっている。会費による一部補助を検討したい。①～③は重要な事案であり、次回の総会までに忌憚のない意見を執行部へ寄せて欲しい旨、説明されました。

そして、二年に一度の役員改選が行われ、会長に小松義典会員が再選、監事には梅田正己会員（62回）、織田牧夫会員（65回）が選ばれました。

その後、近藤勝洪校友会本部会長の本部報告があり、国家試験合格率、創立110周年記念誌の発刊について等のお話をいただきました。滞りなく定時総会を終了し、引き続き学術講演会が行われました。

石井瑞樹新潟病院総合診療科講師（85回）により「かかりつけ歯科医に求められること～高齢社会における健康支援と情報管理の視点から」との演題で講演をしていただきました。石井講師は秋田市のご出身で、旧知の間柄の参加者も多い上に、野球少年時代を知る三浦捷也会員（55回）の講師紹介もあり、終始和やかな雰囲気で行われました。

学術講演終了後写真撮影を行い懇親会へ移りました。鈴木泰人県校友会副会長（73回）の乾杯により開宴し、参加者一同大いに飲み、話し、盛り上がり、最後は中田舞子県校友会副会長（85回）の締め挨拶により終了となりました。

そして、その後も有志（勇士？）によって、二次会、三次会、四次会へと…。秋田の夜はいつも通り続いてゆくのでした。

（志村 崇・88回記）

